

IT関連企業による 「沖縄力発見ツアー2016」

～ 沖縄への投資促進や新たな産業の
創出・振興を目指して～

仕事 の 窓 2

総務部



ワーキング・ディナーにおける意見交換



国立沖縄工業高等専門学校での学生による活動報告

石原内閣府副大臣

内閣府では、11月14日から15日にかけて、県外の企業の代表者などに沖縄の優れたビジネス環境などを実感していただく、「沖縄力発見ツアー2016」を実施しました。

今年度2回目となる今回のツアーでは、県外のIT企業17社が参加し、学校法人KBC学園、国際電子ビジネス専門学校、株式会社沖縄データセンター、沖縄IT津梁パーク、沖縄科学技術大学院大学、国立沖縄工業高等専門学校及び名護市みらい館を訪問して施設などの視察、取組実績の紹介、入居企業などによるプレゼンテーション、意見交換などを行いました。

ワーキング・ディナー

今回のツアー参加者と、石原内閣府副大臣、沖縄県庁及び県内経済界関係者などが一堂に会し、ワーキング・ディナーを実施しました。ツアー参加者は県内関係者などと県内の現状や経営環境などの情報交換を行い、相互の交流を深めました。

視察

学校法人KBC学園においては、専門学校2校から概要、情報通信産業技術者を育成するための取組などの説明を受け、校舎内を視察しました。

株式会社沖縄データセンターにおいては、同社の概要説明のほか、実際にデータセンター内の視察を行いました。

沖縄科学技術大学院大学においては、同大学の概要や産学連携の取組紹介のほか、研究施設などを見学するキャンパスツアーを行いました。

また、国立沖縄工業高等専門学校においては、同校の概要や取組実績の紹介のほか、学生による高齢者と若者の情報格差を解決するシステムや、バーコードをスキャンして母国語での商品情報を表示するアプリの開発などの活動報告が行われ、ツアー参加者から多くの関心が寄せられました。

沖縄IT津梁パーク及び名護市みらい館でのプレゼンテーション

沖縄IT津梁パークにおいて、入居企業を含む県内立地企業3社によるプレゼンテーションが行われ、沖縄県で事業展開する際の利点や人材育成の取組、今後の取組などについてお話がありました。

また、名護市みらい館においては入居企業1社からプレゼンテーションが行われ、沖縄に進出した経緯、金融特区認定取得のメリット、人材の確保といったお話がありました。

ツアー参加者からの声

ツアー参加者からは、

- ・所得控除や人材育成に関する補助金を活用して沖縄で事業展開をすることは有望である。
 - ・視察先の入居企業から、沖縄に進出時の従業員の採用に関して課題・注意点などを聞いてみたい。
 - ・沖縄での政府の施策が全国的に知られるようになると良いと思う。
- といった意見がありました。

内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーをきっかけとしたビジネス展開の支援や、様々な方からいただいたアドバイス、ご指摘を今後の取り組みに活かしていきたいと考えています。